

米沢 学生、住民らが交流会

# 自由に語り合い 広がる輪

米沢市内3大学の学生や地域住民らが対話を通して交流を深める「よねざわ どうもっし!!会」が20日、同市の米沢栄養大、米沢女子短期大の学生食堂で初めて開かれた。参加者は自身の取り組む活動について自由に話し合いながら親睦を深めた。

学生や地元の高校生、企業の社員、自治体職員ら計約60人が参加。ニッケネームや話したいことを記した名札を首にかけ、サークルやボランティア、国際交流イベントといった自身が取り組む活動について自由に語り合った。

ともに米沢東高2年の倉橋真美さん(16)と漆山袖佳さん(16)は「自分の知らなかった地域活動を知ることができた」「学生や大人と話せて新鮮だった」と話した。ボランティア活動に取り組む山形大大学院2年阿部優人さん(23)は「宮城県塩釜市出身は「話しやすい場で新たな出会いができた。今後も参加したい」と笑顔を見せた。交流会を企画したのは、4月に同市おもしろいな地

## 月1回開催 継続し、地域を元気に

域おこし協力隊に着任した小林日世子さん(20)は新潟市出身。地域の交流イベントや活動に積極的に参加していた米沢女子短大生時代の経験を生かし、市地域振興課で若者支援に取り組んでいる。学生らの米沢に対する愛着心を育むとともに、出会いをきっかけに新



参加者が自由に話し合った交流会  
＝米沢市・米沢栄養大、米沢女子短期大の学生食堂

(加藤将也)